（第3種郵便物認可）

TAO×竹田

文化芸術は街を元気にする！

山城に侍よみがえる

久住発 サンデーコラム

文化財とエンターテインメントの融合―。その試みとして、22日（土）に竹田市の国指定史跡・岡城跡で開催される「全国山城サミット」のメインイベントとしてライブ演奏を行う。

日本各地には史跡としていまだ数多くの城が存在するが、中でもあえて険阻な山奥に建立された城、それが山城だ。山城跡や城下町のある全国の自治体が集い地域づくりを議論する「山城サミット」は1994年から始まり、今年は竹田市で開催される。

今回のライブは内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託を受け「オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査」として実施される。TAOにとっても大変意義深い出演だ。

ライブの観客については国内からの事前応募となるが、それに加えて新たに試みたことがある。TAOの海外ファンクラブを対象としたモニターツアーだ。城跡でTAOの特別ライブを見た後、竹田市内の観光ツアーを行ってもらう。

「TAOの里」近くの宿泊施設で温泉と日本食を堪能。翌日はTAOの里を訪問し、広大な阿蘇くじゅう国立公園の大自然の視察、長湯の炭酸泉を体験…という日本人もうらやむコースを楽しむことができる。ペア10組の特別募集だ。これをきっかけにTAOの舞台や音楽の生まれる素晴らしい環境を体感してもらえるほか、日本ならではのコンテンツを体験してもらえる。

「全国山城サミット」で披露されるTAO特別ライブのポスター

今後TAOが掲げる財団の事業として、竹田市の「あざみ台」に唯一無二の舞台機構「天空の舞台」の展開、また国人観光客誘致のヒントとなるかもしれない。

特別ライブの準備は着々と進んでおり、岡城でしか見られない特別演出となる。かつて難攻不落であった岡城でTAOが演じる。まるで城の栄華がよみがえったような、侍が舞い戻ったような、そんな雰囲気を味わってもらえることだろう。

（タオ・エンターテイメント社長、藤高郁夫）

日本初の和太鼓専門学校を併設する計画がある。TAOが新たに創設する、いわゆる観光資源になりうる施設だ。他に類を見ないこの施設を目指して、日本全国また世界各地からの観光客誘致につながればと思う。今回の特別ライブは、今後TAOが展開する外

西日本新聞
2016年10月16日（日曜日）